



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社
コード番号 5660 URL <https://www.shinko-wire.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北山 修二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 吉田 裕彦
四半期報告書提出予定日 2023年8月8日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6411-1051

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	7,361	0.3	106	△3.5	137	△29.5	122	△11.6
2023年3月期第1四半期	7,336	6.2	110	41.3	194	28.5	138	38.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 159百万円 (2.4%) 2023年3月期第1四半期 156百万円 (△74.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	20.74	—
2023年3月期第1四半期	23.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	39,255	21,725	21,725	21,713	55.3
2023年3月期	42,006	21,713	21,713		51.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 21,725百万円 2023年3月期 21,713百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,930	12.0	100	△71.1	100	△77.2	70	△83.2	11.84
通期	35,000	11.9	400	△57.4	400	△61.7	280	△66.4	47.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	5,912,999 株	2023年3月期	5,912,999 株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,344 株	2023年3月期	2,228 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	5,910,709 株	2023年3月期1Q	5,910,989 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当期におけるわが国経済は、コロナ禍が収束に向かう中で経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復傾向となりましたが、ロシアによるウクライナ侵攻等の地政学リスクの長期化、資源価格の高騰や半導体をはじめとする各種資材の調達難の継続影響等により、本格的な回復には至らず、当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループでは、原材料価格やエネルギー価格等の高騰に対する販売価格の改定、高付加価値製品の販売拡大、徹底したコスト削減等に努めた他、在庫評価影響もありましたが、厳しい事業環境の継続による販売数量の減少影響が大きく、当期における当社グループの連結業績は、売上高は7,361百万円と前年同期に比べ25百万円の増収、営業利益、経常利益はそれぞれ106百万円（前年同期比3百万円の減益）、137百万円（前年同期比57百万円の減益）となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は122百万円（前年同期比16百万円の減益）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント毎の経営成績は次のとおりです。

<特殊鋼線関連事業>

(P C関連製品) 主力分野の橋梁において、老朽化に伴う補修・補強案件が増加する一方で、P C鋼材の使用量の多い新設案件が減少するという厳しい事業環境が継続し、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

(ばね・特殊線関連製品) 主力分野の自動車需要において、中国での日系自動車メーカーの販売不振影響等による需要の低迷が継続し、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は3,929百万円と前年同期に比べ244百万円の減収となり、営業損失は45百万円（前年同期は9百万円の利益）となりました。

<鋼索関連事業>

足元の景気動向を反映して、国内外の需要の回復は鈍く、販売数量は前年同期に比べ減少しましたが、一方で、高付加価値製品の販売拡大や販売価格の改定効果等が寄与したことにより、売上高は3,044百万円と前年同期に比べ143百万円の増収となりました。営業利益は、販売数量の減少や製造コストの悪化影響等により、132百万円（前年同期比30百万円の減益）となりました。

<エンジニアリング関連事業>

土木・橋梁分野における大型案件の納入等により、売上高は372百万円と前年同期に比べ125百万円の増収となり、営業利益は6百万円（前年同期は73百万円の損失）となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高、営業利益はそれぞれ15百万円、12百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、2,751百万円減少の39,255百万円となりました。これは主として電子記録債権の減少、現金及び預金の減少によるものです。

負債は、2,763百万円減少の17,529百万円となりました。これは主として1年内償還予定の社債の減少、短期借入金の減少、支払手形及び買掛金の減少によるものです。

純資産は、12百万円増加の21,725百万円となりました。これは主として四半期純利益の増加、その他有価証券評価差額金の増加、配当金支払いによる減少によるものです。また、自己資本比率は55.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、2023年5月10日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,392	1,506
受取手形	406	338
売掛金	4,165	3,933
電子記録債権	4,459	2,426
商品及び製品	4,925	5,315
仕掛品	3,759	3,876
原材料及び貯蔵品	2,199	2,253
その他	617	587
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	22,925	20,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,731	2,703
機械装置及び運搬具（純額）	4,880	4,833
工具、器具及び備品（純額）	120	122
土地	5,869	5,869
リース資産（純額）	3	3
建設仮勘定	408	392
有形固定資産合計	14,014	13,924
無形固定資産	164	158
投資その他の資産		
投資有価証券	1,799	1,875
繰延税金資産	924	869
退職給付に係る資産	1,956	1,976
その他	247	240
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	4,902	4,935
固定資産合計	19,081	19,018
資産合計	42,006	39,255

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,162	2,494
短期借入金	5,371	4,521
リース債務	2	1
1年内償還予定の社債	900	-
未払費用	988	1,031
未払法人税等	237	42
契約負債	67	67
賞与引当金	613	252
その他	495	714
流動負債合計	11,837	9,126
固定負債		
長期借入金	3,891	3,763
リース債務	2	1
役員退職慰労引当金	6	6
環境対策引当金	29	29
退職給付に係る負債	4,408	4,482
その他	118	118
固定負債合計	8,455	8,403
負債合計	20,293	17,529
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	8,164	8,164
利益剰余金	4,120	4,095
自己株式	△2	△2
株主資本合計	20,345	20,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	289	337
為替換算調整勘定	219	238
退職給付に係る調整累計額	859	829
その他の包括利益累計額合計	1,368	1,405
純資産合計	21,713	21,725
負債純資産合計	42,006	39,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	7,336	7,361
売上原価	6,074	6,110
売上総利益	1,262	1,250
販売費及び一般管理費	1,151	1,144
営業利益	110	106
営業外収益		
受取利息	14	15
受取配当金	33	39
持分法による投資利益	33	-
固定資産賃貸料	10	10
還付固定資産税等	30	-
その他	16	15
営業外収益合計	138	80
営業外費用		
支払利息	13	13
持分法による投資損失	-	9
出向者負担金	11	13
固定資産廃棄損	19	4
その他	10	8
営業外費用合計	54	50
経常利益	194	137
税金等調整前四半期純利益	194	137
法人税、住民税及び事業税	△3	△32
法人税等調整額	59	47
法人税等合計	55	14
四半期純利益	138	122
親会社株主に帰属する四半期純利益	138	122

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	138	122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	48
為替換算調整勘定	10	3
退職給付に係る調整額	△29	△30
持分法適用会社に対する持分相当額	22	15
その他の包括利益合計	17	37
四半期包括利益	156	159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	156	159

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,174	2,900	246	7,321	14	7,336	—	7,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	106	71	0	178	—	178	△178	—
計	4,280	2,971	247	7,500	14	7,514	△178	7,336
セグメント損益	9	162	△73	98	11	110	—	110

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,929	3,044	372	7,346	15	7,361	—	7,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	128	36	0	165	—	165	△165	—
計	4,057	3,081	372	7,511	15	7,526	△165	7,361
セグメント損益	△45	132	6	94	12	106	—	106

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。